

第2章 交通事故の現状等

1 交通事故等の現状

(1) 前計画策定以降の狛江市における交通環境の変化

狛江市における道路環境の変化としては、八幡通りの交通安全対策として小金橋南交差点の改良（平成30年度）、自転車利用環境の向上対策として、警視庁では平成28年度より都道、市では令和2年度にいちょう通りにおいて、自転車ナビマークの設置を行っております。

今後の見通しとしては、調布都市計画道路3・4・16号線において、平成30年度より喜多見駅周辺の電力中央研究所前の整備工事に着手し、歩道と車道を分離した道路整備を進め、同路線の喜多見駅周辺小田急線高架下付近から世田谷通り二ノ橋交差点間においても令和3年3月に事業認可を取得し、今後事業を進めていくことが決まっております。また、東京都では調布都市計画道路3・4・2号水道道路線において、令和2年度より道路の拡幅整備事業に着手しております。「八幡通り整備基本計画」や「自転車ネットワーク計画」等の計画に基づき、整備を進めていくことで、今後も道路状況が変化していくことが予想されます。

(2) 道路交通法の改正等

道路交通法の改正（前計画策定以降）

- ・平成29年3月12日 臨時認知機能検査、臨時高齢者講習の新設等、高齢運転者対策の強化（75歳以上の運転者）
- ・令和元年12月1日 運転中の「ながらスマホ」等に対する罰則強化
- ・令和2年6月30日 妨害運転（「あおり運転」）に対する罰則創設

国では、令和元年6月18日の第2回昨今の事故情勢を踏まえた交通安全対策に関する関係閣僚会議にて「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策」が決定され、未就学児を中心に子どもが日常的に集団で移動する経路の安全確保や高齢者の安全運転を支える対策の更なる推進等への取組が強化されました。

東京都では、「東京都自転車の安全で安心な利用の促進に関する条例」（平成25年3月29日条例第14号）を改正し、令和2年4月1日から、自転車乗用中の対人賠償事故に備える保険等への加入を義務付けました。

(3) 交通事故の発生件数及び死傷者数

市内の交通事故の発生件数・死傷者数の状況について、過去5カ年(平成28～令和2年)は下表のとおりとなっています。

平成27年は128件の交通事故がありましたが、令和2年においては77件となり、39.8%減少しました。地域での交通安全活動や警察等による交通安全教育、道路交通法の改正等により、市内全体に交通安全への意識がより高まっていることが要因に挙げられます。

また、事故件数・負傷者数が大幅に減少し、死亡事故については平成28年から令和2年にかけて、平成30年の死者数1人を除き死亡事故0件を達成することができました。

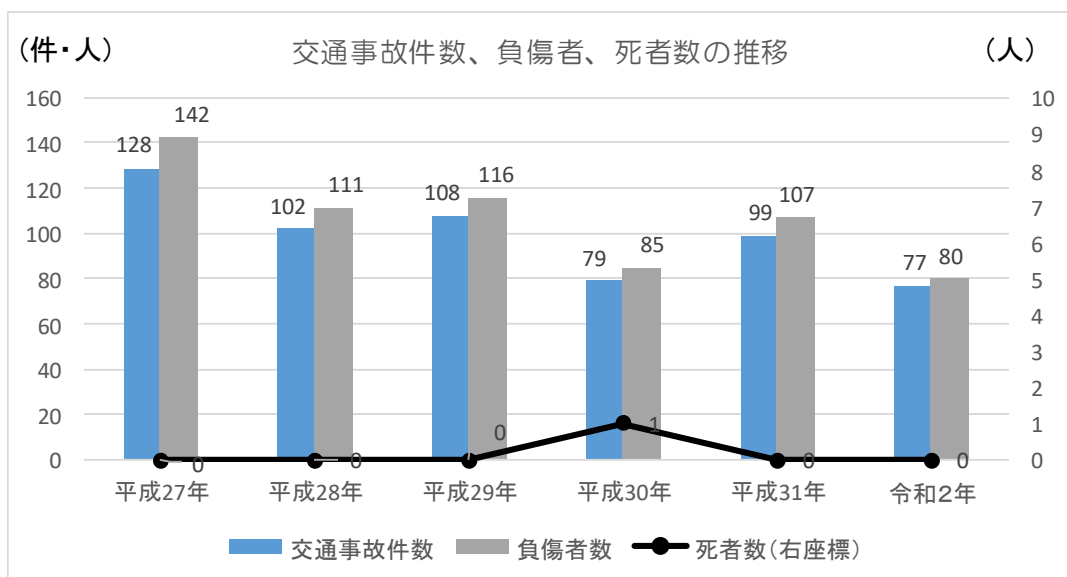
■市内の過去5カ年等の交通事故件数及び死傷者数の推移

狛江市		平成23年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	減少率
交通事故件数		195件	123件	102件	108件	79件	99件	77件	39.8%
死傷者	死者数	3人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0.0%
	負傷者数	206人	142人	111人	116人	85人	107人	80人	43.7%
	合計	209人	142人	111人	116人	86人	107人	80人	43.7%

※「減少率」= (「平成27年の指数」 - 「令和2年の指数」) / 「平成27年の指数」

※数値は、各年の「東京の交通事故」(警視庁交通部発行)より参照

※死者の数値については、交通事故発生から24時間以内に死亡したもの



なお、令和2年における東京都の23区と26市の交通事故の発生件数・死傷者数の状況については、下表のとおりとなっています。

狛江市はこのうち発生件数、千人当たり発生件数、死傷者数及び千人当たり死傷者数において、最も少なくなっています。

■令和2年中の区・市の交通事故発生状況

各区市	人口 R2.1.1時点	令和2年中								
		発生件数		千人当たり発生件数		死者数	負傷者数	合計	千人当たり死傷者数	
		順位	順位	順位	順位					
千代田区	65,942人	457件	29	6.93件	49	4人	499人	503人	7.63人	49
中央区	168,361人	637件	36	3.78件	47	1人	695人	696人	4.13人	46
港区	260,379人	900件	43	3.46件	45	3人	1,027人	1,030人	3.96人	45
新宿区	348,452人	655件	37	1.88件	30	2人	722人	724人	2.08人	31
文京区	226,114人	367件	22	1.62件	20	1人	404人	405人	1.79人	22
台東区	202,431人	507件	32	2.50件	42	2人	552人	554人	2.74人	41
墨田区	274,896人	402件	25	1.46件	16	1人	453人	454人	1.65人	16
江東区	521,835人	770件	40	1.48件	17	6人	844人	850人	1.63人	15
品川区	401,704人	762件	39	1.90件	31	5人	829人	834人	2.08人	30
目黒区	281,474人	386件	23	1.37件	10	1人	418人	419人	1.49人	8
大田区	734,493人	1,259件	46	1.71件	27	14人	1,373人	1,387人	1.89人	25
世田谷区	917,486人	1,522件	49	1.66件	25	11人	1,683人	1,694人	1.85人	24
渋谷区	229,671人	552件	34	2.40件	40	2人	613人	615人	2.68人	40
中野区	335,234人	628件	35	1.87件	29	3人	678人	681人	2.03人	29
杉並区	574,118人	838件	41	1.46件	15	3人	950人	953人	1.66人	17
豊島区	290,246人	475件	31	1.64件	21	4人	515人	519人	1.79人	20
北区	353,908人	458件	30	1.29件	7	5人	483人	488人	1.38人	5
荒川区	217,146人	309件	19	1.42件	13	1人	335人	336人	1.55人	11
板橋区	571,357人	877件	42	1.53件	18	7人	994人	1,001人	1.75人	18
練馬区	739,435人	1,006件	44	1.36件	9	7人	1,123人	1,130人	1.53人	10
足立区	691,298人	1,499件	48	2.17件	36	9人	1,677人	1,686人	2.44人	35
葛飾区	464,550人	511件	33	1.10件	3	3人	571人	574人	1.24人	3
江戸川区	700,079人	1,388件	47	1.98件	33	5人	1,546人	1,551人	2.22人	32
八王子市	562,480人	1,154件	45	2.05件	35	9人	1,305人	1,314人	2.34人	33
立川市	184,090人	452件	28	2.46件	41	2人	507人	509人	2.76人	42
武蔵野市	146,871人	206件	11	1.40件	12	0人	238人	238人	1.62人	14
三鷹市	188,461人	332件	21	1.76件	28	0人	370人	370人	1.96人	27
青梅市	133,032人	309件	19	2.32件	38	3人	350人	353人	2.65人	38
府中市	260,232人	285件	17	1.10件	2	1人	318人	319人	1.23人	2
昭島市	113,397人	425件	26	3.75件	46	2人	475人	477人	4.21人	47
調布市	237,054人	391件	24	1.65件	24	2人	419人	421人	1.78人	19
町田市	428,821人	666件	38	1.55件	19	8人	760人	768人	1.79人	21
小金井市	122,306人	154件	5	1.26件	5	0人	170人	170人	1.39人	6
小平市	194,869人	259件	14	1.33件	8	1人	294人	295人	1.51人	9
日野市	186,346人	426件	27	2.29件	37	3人	459人	462人	2.48人	36
東村山市	151,255人	218件	12	1.44件	14	0人	235人	235人	1.55人	12
国分寺市	125,170人	158件	6	1.26件	6	1人	177人	178人	1.42人	7
国立市	76,280人	195件	10	2.56件	43	1人	214人	215人	2.82人	43
西東京市	205,125人	284件	16	1.38件	11	1人	327人	328人	1.60人	13
福生市	57,617人	135件	4	2.34件	39	1人	152人	153人	2.66人	39
狛江市	83,257人	77件	1	0.92件	1	0人	80人	80人	0.96人	1
東大和市	85,301人	272件	15	3.19件	44	1人	311人	312人	3.66人	44
清瀬市	74,636人	91件	2	1.22件	4	1人	98人	99人	1.33人	4
東久留米市	116,916人	194件	9	1.66件	26	1人	227人	228人	1.95人	26
武蔵村山市	72,382人	287件	18	3.97件	48	3人	328人	331人	4.57人	48
多摩市	148,823人	245件	13	1.65件	23	0人	294人	294人	1.98人	28
稲城市	91,540人	178件	8	1.94件	32	0人	219人	219人	2.39人	34
羽村市	55,354人	91件	2	1.64件	22	1人	100人	101人	1.82人	23
あきる野市	80,667人	164件	7	2.03件	34	1人	202人	203人	2.52人	37

※人口については、東京都のホームページ「東京都の統計」より令和2年1月1日時点のものを引用

※警視庁からの情報提供より引用

(4) 年齢別死傷者数の状況

市内の交通事故による年齢別死傷者数の状況について、過去5カ年(平成28～令和2年)は下表のとおりとなっています。

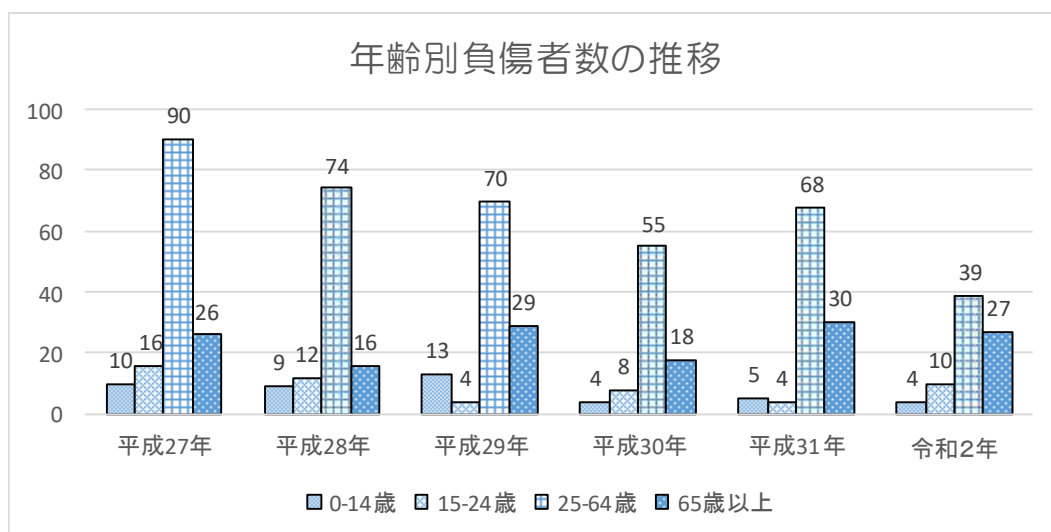
平成27年と令和2年の死傷者数の比較では、0～14歳は60.0%減少、15～24歳は37.5%減少、25～64歳は56.7%減少、65歳以上は3.9%増加で、全体では43.7%の減少となっています。平成23年と平成27年の推移に対して、減少率は向上しており、死傷者数も減少傾向にあります。

■市内の過去5カ年等の年齢別死傷者数の推移

狛江市		平成23年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	死傷者減少率
0-14歳	死者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	60.0%
	負傷者数	19人	10人	9人	13人	4人	5人	4人	
15-24歳	死者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	37.5%
	負傷者数	25人	16人	12人	4人	8人	4人	10人	
25-64歳	死者数	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	56.7%
	負傷者数	128人	90人	74人	70人	55人	68人	39人	
65歳以上	死者数	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	▲3.9%
	負傷者数	34人	26人	16人	29人	18人	30人	27人	
死者数合計		3人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	43.7%
負傷者数合計		206人	142人	111人	116人	85人	107人	80人	

※「減少率」= (「平成27年の死傷者数」－「令和2年の死傷者数」) / 「平成27年の死傷者数」

※数値は、各年の「東京の交通事故」(警視庁交通部発行)より参照



次表は、年齢別の死傷者の構成割合について、東京都全体と狛江市を比較したものです。狛江市におけるおおむね65歳以上の死傷者の構成割合は東京都全体に対して狛江市のほうが高く、25～64歳の死傷者の構成割合は、東京都より低い状況です。

■直近5ヵ年等の年齢別死傷者数の推移（東京都・狛江市比較）

東京都	平成23年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31年		令和2年		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
0～14歳	死者数	1人	6.8%	7人	5.8%	5人	6.0%	6人	5.9%	5人	5.9%	1人	6.0%	5人	5.6%
	負傷者数	3,942人		2,314人		2,269人		2,233人		2,228人		2,096人		1,613人	
15～24歳	死者数	20人	13.5%	10人	11.2%	11人	10.5%	14人	10.9%	14人	10.9%	13人	11.1%	22人	10.5%
	負傷者数	7,873人		4,476人		3,974人		4,162人		4,066人		3,855人		3,024人	
25～64歳	死者数	106人	68.0%	86人	69.1%	80人	69.0%	81人	68.5%	64人	67.8%	64人	66.4%	68人	67.8%
	負傷者数	39,563人		27,627人		26,122人		26,062人		25,429人		23,115人		19,622人	
65歳以上	死者数	88人	11.7%	58人	13.9%	63人	14.5%	63人	14.7%	60人	15.4%	55人	16.5%	60人	16.1%
	負傷者数	6,762人		5,514人		5,463人		5,537人		5,720人		5,711人		4,629人	
死者数合計	215人	100.0%	161人	100.0%	159人	100.0%	164人	100.0%	143人	100.0%	133人	100.0%	155人	100.0%	
負傷者数合計	58,140人		39,931人		37,828人		37,994人		37,443人		34,777人		28,888人		

※東京都の数値は、「特別区計」、「市部計」「郡部計」「島部計」「高速隊」の合計

狛江市	平成23年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31年		令和2年		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
0～14歳	死者数	0人	9.1%	0人	7.0%	0人	8.1%	0人	11.2%	0人	4.7%	0人	4.7%	0人	5.0%
	負傷者数	19人		10人		9人		13人		4人		5人		4人	
15～24歳	死者数	0人	12.0%	0人	11.3%	0人	10.8%	0人	3.4%	0人	9.3%	0人	3.7%	0人	12.5%
	負傷者数	25人		16人		12人		4人		8人		4人		10人	
25～64歳	死者数	1人	61.7%	0人	63.4%	0人	66.7%	0人	60.3%	1人	65.1%	0人	63.6%	0人	48.8%
	負傷者数	128人		90人		74人		70人		55人		68人		39人	
65歳以上	死者数	2人	17.2%	0人	18.3%	0人	14.4%	0人	25.0%	0人	20.9%	0人	28.0%	0人	33.8%
	負傷者数	34人		26人		16人		29人		18人		30人		27人	
死者数合計	3人	100.0%	0人	100.0%	0人	100.0%	0人	100.0%	1人	100.0%	0人	100.0%	0人	100.0%	
負傷者数合計	206人		142人		111人		116人		85人		107人		80人		

※それぞれの数値は、各年の「東京の交通事故」（警視庁交通部発行）より参照

※各年の割合については、四捨五入をしているため、その合計が100にならないものがある。

(5) 状況別死傷者数の状況

市内の交通事故による状況別死傷者数の状況について、過去5カ年(平成28～令和2年)は下表のとおりとなっています。

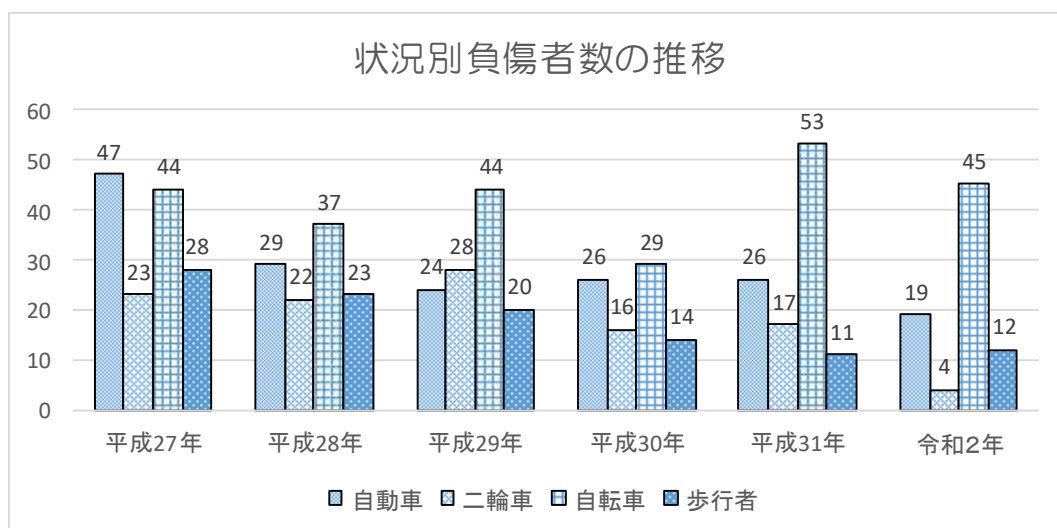
平成27年と令和2年の死傷者数の比較では、自動車は60.0%減少、二輪車は82.6%減少、自転車は2.3%増加、歩行者は57.1%減少となっています。平成23年と平成27年の推移に対して、減少率は向上しており、死傷者数も減少傾向にあります。

■市内の過去5カ年等の状況別死傷者数の推移

狛江市		平成23年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	減少率
自動車	死者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	60.0%
	負傷者数	54人	47人	29人	24人	26人	26人	19人	
二輪車	死者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	82.6%
	負傷者数	32人	23人	22人	28人	16人	17人	4人	
自転車	死者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	▲2.3%
	負傷者数	83人	44人	37人	44人	29人	53人	45人	
歩行者	死者数	2人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	57.1%
	負傷者数	37人	28人	23人	20人	14人	11人	12人	
死者数合計		3人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	43.7%
負傷者数合計		206人	142人	111人	116人	85人	107人	80人	

※「減少率」= (「平成27年の死傷者数」－「令和2年の死傷者数」) / 「平成27年の死傷者数」

※数値は、各年の「東京の交通事故」(警視庁交通部発行)より参照



次表は、状況別の死傷者の構成割合について、東京都全体と狛江市を比較したものです。狛江市における死傷者数については、平成27年と令和2年の比較で大きく減少しています。また、自動車の死傷者の構成割合は、いずれの年も東京都より低い状況であり、自転車の死傷者の構成割合はいずれの年も東京都より高い状況にあります。

■直近5ヵ年等の状況別死傷者数の推移（東京都・狛江市比較）

東京都		平成23年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31年		令和2年	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自動車	死者数	18人	38.1%	13人	45.1%	23人	45.6%	17人	44.1%	11人	41.5%	14人	37.7%	14人	35.7%
	負傷者数	22,203人		18,066人		17,306人		16,822人		15,595人		13,147人		10,355人	
二輪車	死者数	67人	16.9%	38人	14.1%	40人	14.1%	41人	14.2%	44人	13.8%	28人	14.7%	40人	15.5%
	負傷者数	9,790人		5,600人		5,325人		5,389人		5,161人		5,108人		4,456人	
自転車	死者数	38人	31.8%	33人	26.4%	36人	26.3%	28人	27.4%	25人	29.8%	34人	32.2%	34人	33.5%
	負傷者数	18,517人		10,535人		9,962人		10,429人		11,160人		11,195人		9,703人	
歩行者	死者数	92人	13.2%	77人	14.5%	60人	13.9%	78人	14.2%	63人	14.9%	57人	15.4%	67人	15.3%
	負傷者数	7,630人		5,730人		5,235人		5,354人		5,527人		5,327人		4,374人	
死者数合計		215人	100.0%	161人	100.0%	159人	100.0%	164人	100.0%	143人	100.0%	133人	100.0%	155人	100.0%
負傷者数合計		58,140人		39,931人		37,828人		37,994人		37,443人		34,777人		28,888人	

※東京都の数値は、「特別区計」、「市部計」「郡部計」「島部計」「高速隊」の合計

狛江市		平成23年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31年		令和2年	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自動車	死者数	0人	25.8%	0人	33.1%	0人	26.1%	0人	20.7%	0人	30.2%	0人	24.3%	0人	23.8%
	負傷者数	54人		47人		29人		24人		26人		26人		19人	
二輪車	死者数	0人	15.3%	0人	16.2%	0人	19.8%	0人	24.1%	0人	18.6%	0人	15.9%	0人	5.0%
	負傷者数	32人		23人		22人		28人		16人		17人		4人	
自転車	死者数	1人	40.2%	0人	31.0%	0人	33.3%	0人	37.9%	0人	33.7%	0人	49.5%	0人	56.3%
	負傷者数	83人		44人		37人		44人		29人		53人		45人	
歩行者	死者数	2人	18.7%	0人	19.7%	0人	20.7%	0人	17.2%	1人	17.4%	0人	10.3%	0人	15.0%
	負傷者数	37人		28人		23人		20人		14人		11人		12人	
死者数合計		3人	100.0%	0人	100.0%	0人	100.0%	0人	100.0%	1人	100.0%	0人	100.0%	0人	100.0%
負傷者数合計		206人		142人		111人		116人		85人		107人		80人	

※「歩行者」については、「東京の交通事故」でいう「歩行中」「その他」の合計

※それぞれの数値については、各年の「東京の交通事故」（警視庁交通部発行）より参照

※各年の割合については、四捨五入をしているため、その合計が100にならないものがある。

(6) 原因別事故件数の状況

市内の交通事故による原因別死傷者数の状況について、自動車や二輪車側の原因では、安全不確認等基本的な運転行為上の過失が多くみられ、日頃からの安全運転への心掛けで防ぐことができるものです。

歩行者に関する事故については、大半は歩行者側に違反がなく巻き込まれたものですが、横断違反等の交通ルールを無視した行動によるものもあることから、事故から身を守るための交通安全教育の更なる推進が必要と考えられます。

また、自転車に関する事故（下記表の事故内の自転車の「違反なし」「違反あり」の合計）は、過去5ヵ年（平成28～令和2年）においてはそれほど減少していません。自転車側に違反がある事故件数については増加していることから、改めて、自転車の交通ルールの徹底が必要となります。

■市内の過去5ヵ年等の原因別の事故件数等の推移

狛江市		平成 23年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 2年	減少率
事故内の 車両の違反	前方不注意	27	23	15	9	8	12	4	82.6%
	安全不確認	71	36	25	39	27	29	12	66.7%
	その他等	75	48	48	60	42	36	28	41.7%
事故内の自 転車の違反	違反なし	43	28	18	28	23	20	7	75.0%
	違反あり	49	31	28	23	11	36	42	▲35.5%
事故内の歩 行者の違反	違反なし	32	24	19	15	13	10	11	54.2%
	違反あり	7	3	3	5	1	2	1	66.7%

※「減少率」=（「平成27年の事故件数」－「令和2年の事故件数」）／「平成27年の事故件数」

※数値については事故件数、第1当事者・第2当事者*1の合計数

※数値は、各年の「東京の交通事故」（警視庁交通部発行）より参照

※自転車の主な違反は、安全不確認、信号無視

2 交通事故等の今後の見通し

市内の交通事故件数・死傷者数については減少傾向にありますが、年齢別で見ると高齢者、状況別で見ると自転車の死傷者の構成割合が、東京都と比較した場合では高いという傾向が継続しています。全体として交通事故は減少しているものの、高齢化・少子化が今後も進行し、高齢者の割合が高くなることが予想されるため、交通安全対策としては高齢者が関与する交通事故の減少に結び付けることや、次世代を担う子ども世代の事故を未然に防げるよう、ハード面、ソフト面それぞれにおいて対策を講じていくことが重要となっていきます。また、これまでの認識と異なり、自転車が加害者となる事例等もあることから、これまで以上に自転車の安全利用等も推進していく必要があります。

今後の交通安全施策の主な取組も、歩行者や高齢者や障がい者、子ども等交通弱者への配慮をしつつ、人優先の交通社会の形成を推進していくことが大切です。

3 前計画の目標と成果

前計画では目標を「平成32年度までに年間の交通事故死者数ゼロにすることと年間の交通事故件数の減少を目指します。」と定め、交通事故件数が前計画期間の前年（平成27年）の128件に対して前計画最終年（令和2年）は77件と39.8%減少することができました。交通事故死者数は、平成30年の1人を除いてゼロを達成することができ、一定の成果と目標達成ができたものと考えます。